

緩和ケア普及啓発に関する活動報告書

提出日 2016年 3月 31日

緩和ケア普及啓発活動についての報告

<b>実施団体</b>	
特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発事業	
<b>企画名</b>	
平成 27 年度厚生労働省委託事業 市民公開講座 『がんの痛み・つらさの解決方法があります～もっと身近に緩和ケア～』	
<b>事前告知、募集の方法について(ポスター、チラシの配布など)</b>	
公式ホームページでの事前告知、情報誌・新聞への告知掲載、 関連団体・病院等へのちらし配布	
<b>当日の実施内容について</b>	
日時(期間)	2016年 2月 11日(木・祝) 13:30 ~17:00
実施場所	イイノホール〔東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビルディング 4階〕
参加人数	一般市民、参加費無料(定員なし)
<p>具体的な実施内容：</p> <p>&lt;プログラム&gt;</p> <p>I. 「我が国におけるがん対策」          演 卓至 氏(厚生労働省 健康局がん・疾病対策課)</p> <p>II. 「痛みの解決方法」          有賀 悦子 氏(帝京大学医学部 緩和医療学講座教授・診療科長)</p> <p>III. 「心配・不安の解決方法」          秋月 伸哉 氏(千葉県がんセンター 精神腫瘍科 部長)</p> <p>IV. 「生活に関する不安の解決方法」          風間 郁子 氏(筑波大学附属病院 看護部 緩和ケアセンター専従がん看護専門看護師)</p> <p>V. 「お金・仕事に関する不安の解消方法」          坂本はと恵氏(国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 サポートケアセンター/          がん相談支援センターがん相談統括専門職(医療ソーシャルワーカー))</p> <p>VI. 公募作品発表&lt;がん治療の中で医療スタッフからカづけられた一言&gt;</p> <p>VII. 緩和ケア取材発表 ~たかまつななが行く!~</p> <p>VIII. パネルディスカッション「緩和ケア・医療用麻薬の疑問についてお答えします」          座 長 : 下山 理史 氏(愛知県がんセンター中央病院 緩和ケアセンター副センター長)          池永 昌之 氏(淀川キリスト教病院 緩和医療内科 主任部長)</p> <p>演 者 : 細川 豊史 氏、有賀 悦子 氏、秋月 伸哉 氏、風間 郁子 氏、坂本はと恵氏</p> <p>特別出演: 鈴木美穂(日本テレビ記者・マガーズ東京共同代表理事)</p> <p>たかまつなな(お笑いジャーナリスト)</p>	

## < 展示他 >

- ◆ ホワイエ：緩和ケアに関する資料の配布と資料や書籍の展示、当会に関する資料の展示・配布

## 効果について(アンケートの結果など)

### 《アンケートでの意見(抜粋)》

- ◆ 緩和ケアの正しい知識を知れて良かったという声、副作用が障害年金の対象となると知れたという声、ここで得た知識を闘病の励みにするという声や、治療中の家族や友人と情報共有したいという声を多数いただいた。
- ◆ 声を上げること・情報の重要性を実感したという感想や、行動なしでは何も変わらないという言葉が響いた、現役医療者の話を聴けてよかったという感想をいただいた。心と体の痛みを和らげる緩和ケアが普通になって欲しいという意見や、もっと普及啓発や公開講座をして欲しいという意見も多数いただいた。
- ◆ 一般病棟での緩和ケアの難しさや患者さんと家族のつらさと、笑いを絶やさず寄りそうという感想をいただいた。また医療機関により緩和ケアが受けられなかったり、痛みは個人差があり周りに訴えにくく我慢してしまう、転院の困難さや患者に情報が届きにくいという声をいただいた。
- ◆ ディスカッションが患者さんの声を代弁してよかったという声、講演も勉強になったという声を多数いただいた。また具体例が欲しいという意見や、テーマを絞り深く討論して欲しいという意見、早口だったり専門的だと理解し難いので分かりやすく、ディスカッションを短く講演を長くして欲しいという意見があった。
- ◆ がんについて子供にも教えた方が良いという意見、手話通訳して欲しいという意見があった。また講演中の理解を高めたり、復習や友人・知人に伝えるために講演資料が欲しいという声が多かった。テレビ放送やインターネット配信・講演資料ダウンロード等で、もっと講演やその他の情報が欲しいという声を多数いただいた。
- ◆ 痛みがあると脳の報酬システムが働き医療用麻薬に依存症にならないという、身体の機能の素晴らしさへの感想、痛みは生きる力を減らす・痛み除去は権利の言葉が印象的という感想をいただいた。
- ◆ 医療用麻薬・仕事とお金の話・リハビリ・在宅緩和ケア等をもっと聞きたい、精神科医・臨床心理士の緩和ケアでの役割を知りたいなど、緩和ケアの詳細な知識をもっと得たいという声を沢山いただいた。
- ◆ どんな病気・障害・高齢・認知症などでもその人らしくいられる社会になって欲しいという声や、大病院だけでなく全病院・施設・団体が十分機能するよう税金を有効に使うって欲しいという声があった。
- ◆ がん相談支援センターを活用するという声や、患者家族会にアクセスして欲しいという声があった。また休職中・通院治療中で職場復帰・治療費等に悩む声や、契約切り後に金銭援助がないか、身寄りがいない人に付き添い等あるかなどの切実な声もあった。知ることで心もお金も負担が減らせると周りに伝えたいという声をいただいた。
- ◆ ロビーでの相談コーナー実施の希望や、より多く資料提供が欲しいという声、ホワイエという名前がわかりにくいという声があった。また会場の空調が寒かった・テーブルが欲しいという意見など今後の運営に生かしていきたい。

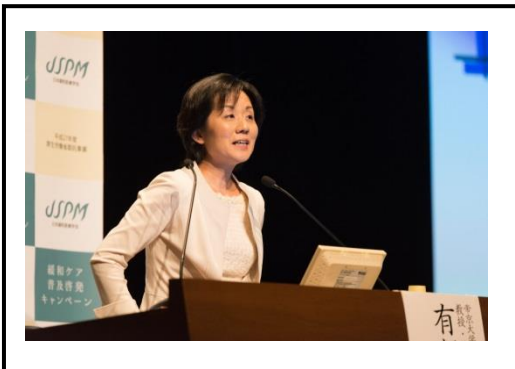
## その他報告

事前申込者の約8割もが参加し、講演を聴く姿や資料を手にする姿から大変熱心に参加いただいたことが伝わった。基調講演では医師・看護師・ソーシャルワーカーなど様々な医療従事者が、具体的な事例を提示して市民に分かりやすい内容の講演を心掛けた。

ディスカッションでは緩和ケアを知らない市民を代表する、キャンペーンメッセンジャーのたかまつななさんと、患者さんを代表する、日本テレビ記者で乳がん経験者である鈴木美穂さんが登壇し、医療従事者からの情報だけでなく患者・市民の目線で参加いただき参加者に今までより、“もっと身近に”緩和ケアを感じていただくことを目指した。

他にも平成27年12月中旬-平成28年1月末にWEB上で募集した、『がん治療の中で医療スタッフから「カブけられた一言」』の受賞作品発表や、たかまつなさんが取材した緩和ケアの現場についてのビデオ上映も行った。全体を通し医療者側の意見だけでなく患者さんご家族の視点を取り入れること、緩和ケアの現場を見てもらうなど様々な方法で緩和ケアを身近に感じて、参加者が更に有益な情報を得ていただける講座となった。

## ●当日の写真



平成27年度厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発活動

市民公開講座「がんの痛み・つらさの解決方法はあります～もっと身近に緩和ケア～」

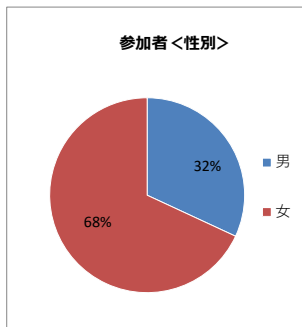
アンケート調査集計(グラフ)

市民公開講座参加者数	315
アンケート回収数	239
回収率	76%

1:あなたのことについて教えてください

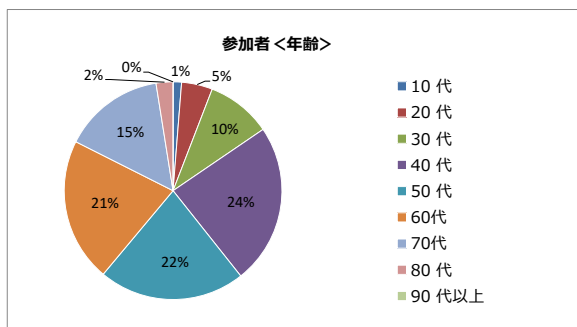
参加者<性別>

	男	女	合計
人数	75	160	235



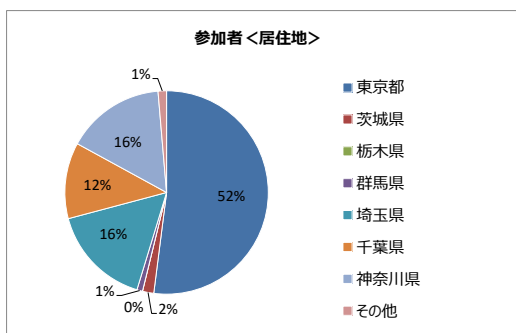
参加者<年齢>

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計
人数	3	11	23	57	52	51	36	6	0	239



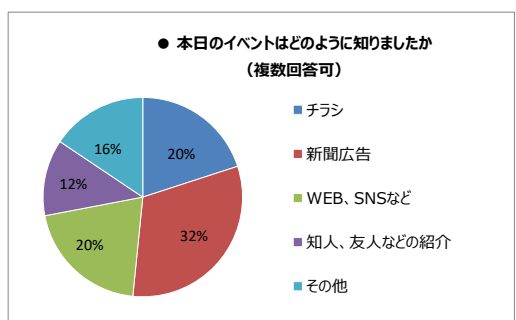
参加者<居住地>

	東京都	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	神奈川県	その他	合計
人数	116	4	0	2	36	27	35	3	223



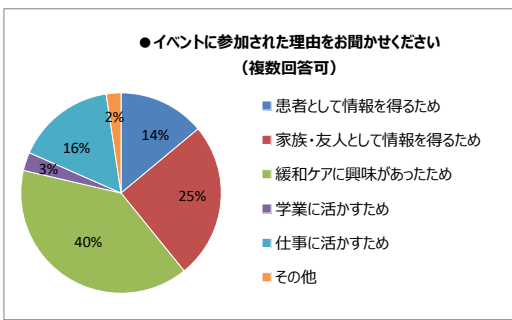
●本日のイベントはどのように知りましたか？(複数回答可)

	チラシ	新聞広告	WEB、SNSなど	知人、友人などの紹介	その他	合計
人数	50	79	51	31	39	250



●イベントに参加された理由をお聞かせください(複数回答可)

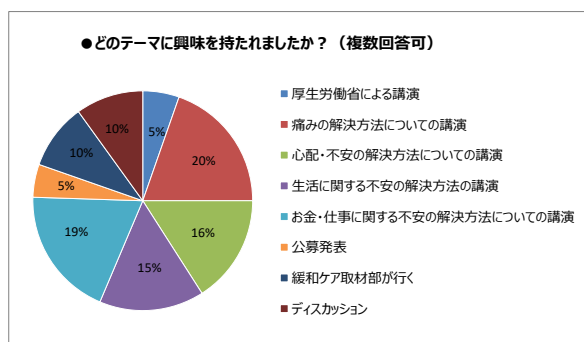
	患者として情報を得るため	家族・友人として情報を得るため	緩和ケアに興味があったため	学業に活かすため	仕事に活かすため	その他
人数	47	85	133	10	54	8



2:市民公開講座について教えてください

●どのテーマに興味を持たれましたか？(複数回答可)

	厚生労働省による講演	痛みの解決方法についての講演	心配・不安の解決方法についての講演	生活に関する不安の解決方法の講演	お金・仕事に関する不安の解決方法についての講演	公募発表	緩和ケア取材部が行く	ディスカッション
人数	42	154	125	121	150	38	76	78



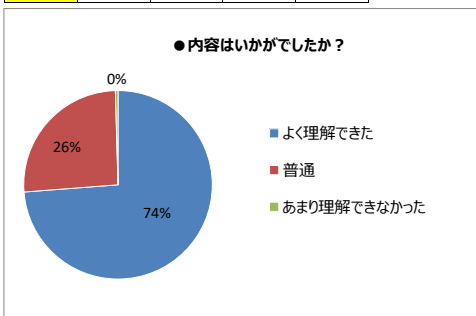
平成27年度厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発活動

市民公開講座「がんの痛み・つらさの解決方法はありません～もっと身近に緩和ケア～」

アンケート調査集計(グラフ)

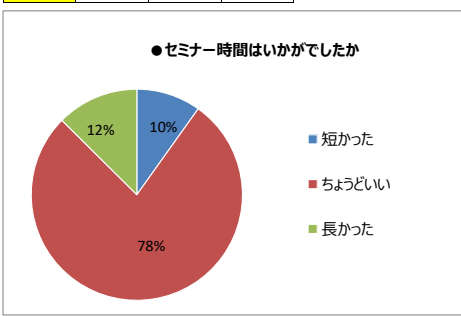
●内容はいかがでしたか？

	よく理解できた	普通	あまり理解できなかった	合計
人数	166	58	1	225



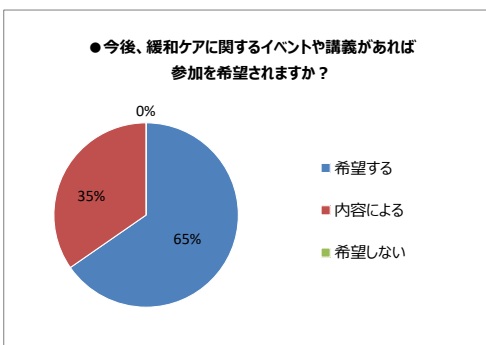
●セミナー時間はいかがでしたか

	短かった	ちょうどいい	長かった
人数	22	173	28



●今後、緩和ケアに関するイベントや講義があれば参加を希望されますか？

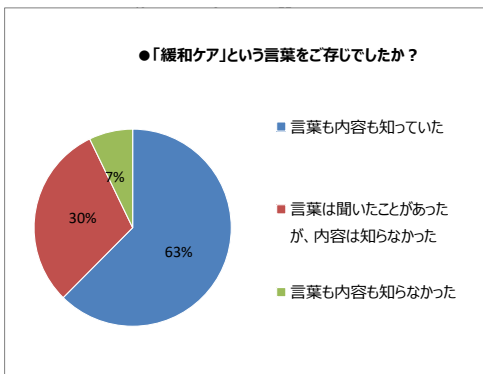
	希望する	内容による	希望しない
人数	149	79	0



3:緩和ケアの認識についてお教えてください

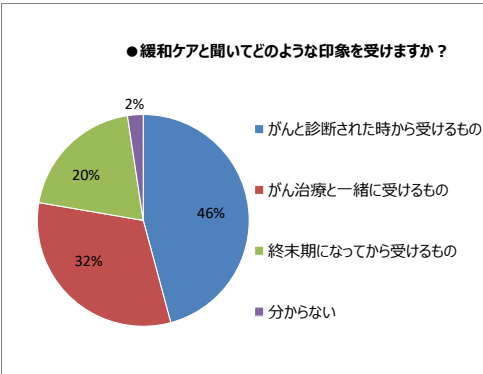
●「緩和ケア」という言葉をご存じでしたか？

	言葉も内容も知っていました	言葉は聞いたことがあったが、内容は知らなかった	言葉も内容も知らなかった
人数	148	72	17



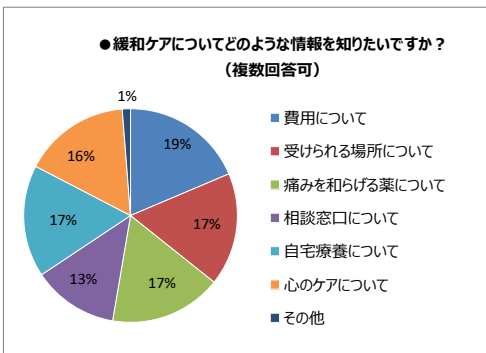
●緩和ケアと聞いてどのような印象を受けますか？

	がんと診断された時から受けるもの	がん治療と一緒に受けるもの	終末期になってから受けるもの	分からない
人数	115	80	50	6



●緩和ケアについてどのような情報を知りたいですか？(複数回答可)

	費用について	受けられる場所について	痛みを和らげる薬について	相談窓口について	自宅療養について	心のケアについて	その他
人数	135	124	123	94	123	117	9



がんの痛み・つらさの解決方法があります ~もっと身近に緩和ケア~

# 市民公開講座

2/11 [木・祝] 13:30~17:00  
12:30 開場

知って身近に。  
もっと近くに、  
緩和ケア。

東京・霞が関 **イイノホール** 《参加無料・定員400名・先着順》

がんを知り、がん向き合い、がんを負けることのない社会の実現のために、様々な取り組みが行われています。病気に伴う心と体の痛みを和らげる緩和ケアは、治療と一緒に受けられます。緩和ケアはどうすれば受けられるのか、緩和ケアを受けるとどのような良いことがあるのか、専門家が分かりやすくお話しします。

## プログラム

- 13:30~ 開会の挨拶  
細川 豊史 日本緩和医療学会 理事長/京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学講座 教授
- 13:35~ ● 我が国におけるがん対策  
厚生労働省健康局がん・疾病対策課
- 13:50~ ● 痛みの解決方法  
有賀 悦子 帝京大学 医学部 緩和医療学講座 教授・診療科長
- 14:05~ ● 心配・不安の解決方法  
秋月 伸哉 千葉県がんセンター 精神腫瘍科 部長
- 14:20~ ● 生活に関する不安の解決方法  
風間 郁子 筑波大学附属病院 看護部 緩和ケアセンター専従がん看護専門看護師
- 14:35~ ● お金・仕事に関する不安の解消方法  
坂本 はと恵 国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院 サポートケアセンター/  
がん相談支援センターがん相談統括専門職 (医療ソーシャルワーカー)
- 14:50~ 休憩
- 15:10~ 公募作品発表 <がん治療の中で医療スタッフからカづけられた一言>
- 15:25~ 緩和ケア取材発表 ~たかまつななが行く!~
- 15:45~ パネルディスカッション  
● 緩和ケア・医療用麻薬の疑問についてお答えします  
座長: 下山理史 愛知県がんセンター中央病院 緩和ケアセンター 副センター長  
池永昌之 淀川キリスト教病院 緩和医療内科 主任部長  
演者: 細川豊史、有賀悦子、秋月伸哉、風間郁子、坂本はと恵  
特別出演: たかまつなな (お笑いジャーナリスト)  
鈴木美穂 (日本テレビ記者・マガーズ東京共同代表理事)
- 16:55~ 閉会の挨拶

緩和ケアとは、一言で申し上げますと…  
**「病気に伴う心と体の痛みを和らげること」**  
なのでございます。



緩和ケア普及啓発キャンペーン・メッセンジャー  
お笑いジャーナリスト

**たかまつなな**

2015年緩和ケア普及啓発キャンペーン・メッセンジャーに就任。神奈川県出身の22歳。中学・高校時代に読売新聞子ども記者団として活躍。第14代高校生平和大使として国際連合軍縮会議などに出席。慶應義塾大学・東京大学大学院情報学環教育部在学中。2013年「フラッシュ!〜U-20 お笑い日本一決定戦〜」優勝、お嬢様芸人としてブレイク。お笑い社会問題を伝える「お笑いジャーナリスト」という新たなジャンルで活躍中。

参加申込方法: WEBサイトの申込みフォーム、FAX、郵送、またはお電話でお申込みください。  
(詳細は裏面をご参照ください)

● 緩和ケア普及啓発キャンペーン事務局 (オスカー・ジャパン株式会社内)

TEL: 0422-24-6816 (平日 10:00~12:00、13:00~16:00)

● 主催: 特定非営利活動法人日本緩和医療学会 (平成27年度厚生労働省委託事業緩和ケア普及啓発キャンペーン)

● 後援: 東京都、一般社団法人日本がん看護学会、特定非営利活動法人日本ホスピス緩和ケア協会、  
一般社団法人日本サイコoncology学会、一般社団法人日本癌治療学会、公益社団法人日本臨床腫瘍学会、  
公益社団法人日本放射線腫瘍学会、一般社団法人日本ペインクリニック学会、公益社団法人日本麻酔科学会、  
特定非営利活動法人日本ホスピス・在宅ケア研究会、一般社団法人日本緩和医療薬学会

知って身近に。もっと近くに、緩和ケア。

<http://www.mottomijikani.com/>



FAX:0422-24-6812

市民公開講座事務局

## 参加申込書

# 市民公開講座《参加無料》

がんの痛み・つらさの解決方法があります ～もっと身近に緩和ケア～

平成 28 年 2 月 11 日 [木・祝] 13:30～17:00 (12:30 開場) イノホール (東京・霞が関)

### イノホール交通案内

#### ●東京メトロ

日比谷線・千代田線「霞ヶ関」駅 C4 出口直結

丸ノ内線「霞ヶ関」駅 B2 出口 徒歩 5 分

銀座線「虎ノ門」駅 9 番出口 徒歩 3 分

有楽町線「桜田門」駅 5 番出口 徒歩 10 分

#### ●都営地下鉄 三田線「内幸町」駅 A7 出口徒歩 3 分

#### ●その他

JR 山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線、

都営地下鉄浅草線、ゆりかもめ「新橋」駅 徒歩 10 分



下記にご記入の上、FAX か郵送にてお申込みください (WEB サイト上の申込みフォームからの申し込みも可能)。なお、参加受付は先着順です。定員になり次第締め切らせていただきます。

<個人情報の取扱について>個人情報保護法令等に基づき厳重に管理し、本市民公開講座の受付のみに使用いたします。

記入事項

フリガナ：

氏 名：

〒 -

住所：

Tel：

Fax：

メールアドレス：

～お問い合わせは事務局まで～

◎ 緩和ケア普及啓発キャンペーン事務局 (オスカー・ジャパン株式会社内)

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-35-1 ネオ・シティ三鷹 TEL：0422-24-6816 (平日 10:00～12:00、13:00～16:00)

主催：特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 (平成 27 年度厚生労働省委託事業)